



第 1 号

令和元年5月24日発行  
北海道札幌伏見支援学校



学校だより

## 地域とともに学ぶ学校づくり

北海道札幌伏見支援学校長 山下 秀 樹



5月に入り、春らしいすがすがしい風を感じる季節となってきました。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、平素より本校の教育の振興に深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年度のことになりますが、2月9日と10日、札幌雪まつり期間中に行われた「もいわ山麓雪あかり」という市電乗り場から藻岩山ロープウェイまでの道路沿いに、アイスキャンドルを飾るという山鼻第18町内会と12町内会の取組がありました。観光客の方はもちろん地域の方々も寒い中、アイスキャンドルの美しいゆらめきを目にして「きれい」「素敵」の声があちこちであがっていましたし、賛同する企業や事業所も年々増えてきており見応えのある催しとなっています。

実は、このアイスキャンドルに使用しているキャンドルの一部は、本校の高等部の生徒が作ったものです。今回は二百を超えるキャンドルを提供させていただきました。この「もいわ山麓雪あかり」のほんの一部ではありますが、地域の方々と連携した取り組みの一つです。本校の職員もこの実行委員会の一員となって協力しています。

授業「作業学習」で自分たちが作ったキャンドルが、地域の方々に有効に活用され、それを観光客の方々などに喜んでもらえるということは、本校の生徒にとって働くことの喜びや意義がダイレクトに感じられる貴重な経験です。

本校は開校より児童生徒数が年々急増しており、今年は児童生徒数116名でのスタートとなりました。それに伴い狭隘化が進み、校舎が狭く活動場所も限られてきています。

しかし、プールがないなら水道記念館の噴水で水遊びをしようとか、作業をする場所が狭いなら、地域の会社や事業所で働かせてもらおうとかいったいわば苦肉の策で始めた取り組みは、地域に出て、地域と共に学ぶという本校の大きな特色ともなり、多方面から評価を受けているところです。

もう学校単独で閉鎖的に教育活動を進めるという時代ではありません。地域の方々とともに学ぶという姿勢は、将来社会に出て生活する本校の児童生徒にとって大変有意義なことであると確信しております。

これまで以上に、児童生徒が地域の方々とともに生活できる力を育てていくのが本校の大きな目標ともいえますので、今後ともご理解とご協力を深くお願いいたします。

# 小学部の教育

小学部主事 宮崎 麻弓

今年度の小学部の児童数は5月1日現在、53名です。昨年度と比べて13学級と学級数は変わりませんが、児童が3名増え、開校時の27名と比較するとほぼ2倍の児童が在籍しています。

学習については、小学部1～3年生では遊びの指導を中心として学習を進めています。発達段階で大切な遊びを通して活動に取り組み、子どもや大人とのやり取り、身近なルールなどを学びます。遊びの指導は、内容の特徴によって「音楽あそび」「運動あそび」「造形あそび」「自然自由あそび」に分けています。4～6年生では「音楽あそび」「運動あそび」「造形あそび」がそれぞれ音楽や体育、図画工作と教科学習に進んでいきます。その他にも生活する力に必要な事柄を体験的に学ぶ「生活単元学習」、主に国語と算数の内容を学ぶ「ステップアップ」、一日をスタートさせる際、身体や気持ちを整理する「わくわくタイム」を全学年で行っています。その他にも、5、6年生については、集団の中でコミュニケーションの力を培ったり、実際に使う力に発展させたりする「チャレンジタイム」も行っています。

昨年度は、近隣の施設を利用し様々な内容の学習をしてきました。今年度も地域資源を積極的に活用し、児童一人一人が自分の力を発揮できるような学習計画や学習環境を作っていきたいと考えています。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 中学部の教育

中学部主事 鈴木 喬

現在、中学部は19名で学習しています。基本は中学部全員での集団学習をしていますが、ステップアップの授業のように各学級で学習したり、作業学習のようにグループに分かれて学習したりもしています。

中学部の段階としては、小学部で培った力を高め、高等部(高等支援)につなげ、そして将来の社会生活に向けて進めていくこととなります。

中学部から始まる作業学習は、働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。今年度から内容を一部改訂し、リサイクル班とクラフト班の2つの班で取り組んでいます。リサイクル班では、ペットボトルのキャップ外しとラベル剥がし、潰し作業、そして空き缶のリングプル外し、潰し作業をしています。潰した空き缶は、リサイクル業者と連携して生徒が直接受け渡して、作業学習で取り組んだことが社会の役に立っていることを学習していきます。コロバースでは、中央区の土木センターと連携して滑り止めの砂をペットボトルに入れる作業をしています。出来上がった製品は、中央区土木センターの職員さんに生徒たちが直接渡しており、納品などの活動を通じて、コロバースが冬道の滑り止めに役立っていることを学習していきます。クラフト班では、布巾作り、ウエス作り等をしています。出来上がった布巾を校内の教室等で使ってもらい、みんなの役に立っていることを伝えていきます。今年度の作業学習は、まだ始まったばかりですが、どの作業においても生徒たちの達成感を持てるように様々な工夫をして取り組んでいるところです。

さらに総合的な学習の時間では、作業学習等で培った力を更に発展させていくため、職場見学や職場体験学習を実施しています。働くことの意味を知り、自分なりのイメージを持ち、高等部そして将来に向けて理解を深めていくことを目標として進めています。今年度は、コンビニエンスストア等で実際に働いているところを見学し、そこで体験する予定です。

このように中学部では将来に向けて中学部段階で必要なことの学習を生徒たちに合わせて進めています。

## 高等部の教育

高等部主事 齊下 智大

高等部は、今年度新たに17名の新入生を迎え43名でスタートしました。

高等部は地域に根ざした教育活動を目指しており、地域の企業や町内会、関係機関と連携の上、学校でつけた力を社会で発揮できるよう、日常の学習を充実させながら、昨年度までの基盤をベースに学習活動を展開しています。

町内会と札幌市中央区土木との連携で「ふれあいフラワー事業」に参加する計画で、今年は「伏見藻岩山公園」と「山元公園」へ合わせて600株を植えます。学校周りのプランターにも120株の花を植えて飾る予定ですので、ご覧ください。また、町内会との連携で「山元公園」の清掃も行っています。

地域の企業・店舗等にご協力いただき地域協働学習を進めています。今年度も「マックスパーク伏見」様、「もいわ太陽食堂」様、「セブンイレブン札幌南16条店」様、「洋服の青山」様、「札幌教材製作所」様、「札幌もいわ山ロープウェイ」様、「ファミリーマートロープウェイ入り口店」様、「ドリーバーデン旧小熊邸」様にお世話になり、店舗の清掃やバックヤード業務に取り組んでいます。この他にも、生徒が卒業後、社会参加していくための知識や技能を身に付けるために、地域資源を活用した学習を工夫と連携により進めていきたいと考えています。

冬には2年続けて、「もいわ山麓雪あかり」という事業に参加し、町内会へろうそくを提供しました。そのろうそくを使ってアイスクャンドルを作成して飾り付け、事業へ彩りを添えることができました。

これらの学習の成果を発揮する場として、高等部「伏見祭」があります。内容・構成を含めて、生徒が主役の「伏見祭」を目指したいと思います。日頃お世話になっている地域の方々にも公開し、より地域との関わりを深め、生徒の成長を第一に、地域と共に歩んでいきたいと考えています。

# ～転入者の紹介～

道南の北斗市にある大野農業高校から異動となりました事務長の大平洋保です。生徒数の増加により狭隘化が進んでいますが、児童、生徒にとって有意義な学校生活となるように、頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。  
事務長 大平 洋保

この度、白樺高等養護学校から参りました。普通科高校、高等養護学校などを経験してきましたが、人生一回りしたところで、ようやく小学部に勤務することができました。子どもたちと楽しく過ごせるのが嬉しいです。よろしくお願いいたします。  
小学部4-1 学年付 遠藤 昭博

オホーツクにある紋別養護学校から異動してきました。子どもたちの元気に圧倒されています。それに負けないぐらいの元気を出して、子どもたちと一緒に、切磋琢磨していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。  
小学部5-1 副担任 小椋 剛

道北にある美深高等養護学校より赴任してまいりました。児童生徒のみなさんと多くの時間を共にできることをうれしく思っています。どうぞよろしくお願い致します。  
小学部1-1 副担任 伊藤 麻美子

明るく元気な児童生徒のみなさんと毎日楽しく過ごさせていただいています。これから一緒にたくさんのご経験をしながら私自身もいろいろなことを学んでいきたいと思っています。よろしくお願い致します。  
小学部1-2 副担任 中村 咲稀

今年の3月に札幌大学を卒業しました。初めてのことばかりですが、元気な伏見支援学校の皆さんとともに、勉強や運動など様々なことに挑戦し、私も大きく成長できるよう努めていきたいと思っています。よろしくお願い致します。  
小学部2-1 副担任 川島 遥

室蘭工業高校、八雲養護、夕張高等養護、札幌養護学校、伏見支援学校が生涯5校目の勤務地となります。生徒たちと共に、いろいろなことを体験し、学びながら共に成長できればと思っています。よろしくお願い致します。  
中学部1-2 副担任 山下 強司

道東の海沿いにある白糖養護学校から赴任してきました。以前は札幌養護学校にも勤務していましたが、7年間のブランクを経て、人や車の多さにより慣れてきたところです。児童生徒の皆さんと、共に学び、共に笑い、充実した日々を過ごしていければと思っています。どうぞよろしくお願い致します。  
中学部1-1 担任 磯貝 敬

食べることと体を動かすことが大好きです。子どもたちに負けないよう元気いっぱい頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。  
中学部2-1 副担任 日光 梓

発寒東小学校から参りました。約3年間、特別支援学級の担任をしていました。午後だけの短時間勤務になりましたが、どうぞよろしくお願い致します。  
中学部 学部付 北村 玲子


もなみ学園分校からまいりました外塚(とづか)と申します。高等部に所属いたします。地域との交流が盛んな高等部の学習を、生徒の皆さんと一緒に頑張りたいと思っています。よろしくお願い致します。  
高等部 学部付 外塚 文夫

札幌市に来てから8年が経ちましたが、まだまだ都会の生活には慣れず、のんびりしていることがあります。大好きな音楽と一緒に皆さんと楽しい時間を過ごしていけることを楽しみにしております。よろしくお願い致します。  
高等部3-1 担任 津崎 芸鑑

伏見支援学校の児童生徒の皆さんの笑顔と明るさに元気をもらいながら毎日仕事をさせていただいています。私も児童生徒の皆さんと一緒に成長していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。  
高等部2-2 副担任 土田 志織

## 子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

- 電話番号  0120-3882-56 (無料、毎日24時間対応)
- メール相談 [doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp](mailto:doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp)  
※お急ぎの場合は電話相談を利用してください。
- 来所相談 10:00～16:00 (土日・祝日、年末年始はお休みです。)

### 子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階 ※上記の電話番号で予約してください。



### 北海道札幌伏見支援学校

〒064-8514 札幌市中央区伏見4丁目4番21号

電話 (011) 520-5003 FAX (011) 520-5004

※学校行事、学習活動の様子等については学校「HP」をご覧ください。